



(写真撮影：佐藤千加雄委員)

## 君から君へ。つなげ!そのバトン!

大郷小学校運動会が行われました。

キャッチフレーズ

「熱く心に残る、くいのない運動会にしよう！」

# みんなの 議 会 おおぞと

NO. 183

2016 平成28年 8月 1日

- 2 6月定例議会  
国保税課税限度額引き上げ
- 4 【補正予算】 農業施策に3000万円計上
- 5 町政を問う「一般質問に7名が登壇」
- 13 議会改革調査特別委員会を設置
- 15 委員会活動リポート
- 17 その後どうなった…

# 国民健康保険税・基礎課税限度額を引き上げ

## 医療・後期高齢者支援金分

平成28年第2回定例議会は、6月1日から3日までの会期日程で開催されました。専決処分7件、条例の一部改正1件、一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、水道事業会計補正予算を原案どおり可決しました。



▲国民健康保険については、町民課へ（税については税務課へ）

### 医療に係る基礎課税額並びに後期高齢者支援金の限度額の改正、軽減判定基準額の改定

6月定例議会において、国保条例の一部改正等の専決処分を承認しました。国民健康保険条例の一部改正については、医療に係る基礎課税額並びに後期高齢者支援金等に係る限度額を引き上げるものです。また、5割軽減及び2割軽減世帯に係る軽減判定基準額も引き上げるものです。

### 主な質疑

**問** 町が引き下げをして負担軽減に努めている中、今回の引き上げについて町長の考えは。

**答** 町長 納税する方にとっては大変な負担だと思っております。昨年下げた訳ですが、今後しっかりと説明をしながら健康なまちづくりを基本理念に対処していく。

**問** 今回の改正は加入者の負担がふえ、生活が苦しくなるものと考えますが、今回の改正による限度超過世帯数は。また、軽減世帯は。

賦課区分		改正前	改正後
医療分	課税限度額	520,000円	540,000円
後期高齢者支援金分		170,000円	190,000円

軽減割合	所得の上限額
5割軽減	33万円 + (26.5万円 × [被保険者数 + 特定同一世帯所属者数])
2割軽減	33万円 + (48万円 × [被保険者数 + 特定同一世帯所属者数])



**答** 税務課長 医療分については9世帯、後期高齢者分については13世帯、介護の分については4世帯となる見込みである。

**問** 軽減世帯は全315世帯で、5割軽減が170世帯、2割軽減が145世帯である。

**問** 5割、2割軽減基準の改正によりどれくらいの差額となるか。

**答** 税務課長 医療分で18万円、後期高齢者分で32万4000円と試算している。

## 平成27年度事業を 4億7250万円 繰越し

平成27年度予算のうち、公営住宅整備事業、町道新設改良事業、臨時福祉給付金事業、放課後児童クラブ施設解体事業などの事業費を28年度に繰越して事業を実施します。  
主な繰越事業の内訳は下記のとおりでです。

### ●平成27年度の主な繰越事業

○情報セキュリティ強化対策事業	733万円
○臨時福祉給付金事業	3,592万円
○放課後児童クラブ施設解体事業	1,756万円
○子ども・子育て支援システム改修業務	265万円
○町道新設改良事業	7,966万円
○公営住宅整備事業	1億5,428万円

**企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除の一部改正**

**問** 促進地域に該当しているところはありますか。

**答** 企画財政課長 1社が該当している。

## 平成27年度 一般会計補正予算(第10号)

### 主な質疑

**問** 町道補修工事費454万円が繰越明許費の追加で年度末に専決処分されている。

その後2カ月が経過しているが進捗状況は。

**答** 企画財政課長 町道地図訂正は完了、町道舗装工事一部施工中。

**答** 地域整備課長 1路線(味明雉子喰線側溝整備工事)は完成、1路線(川内本線外1線道路修繕工事)については舗装工が残っている。



▲川内流通工業団地入口

# 担い手確保・経営強化支援 事業補助金3000万円計上

## 平成28年度一般会計補正予算原案可決

担い手確保・経営強化支援  
事業補助金、畜産競争力強  
化対策整備事業補助金

### 主な質疑

**問** 担い手確保のために、  
積極的な補助金の活用を。

**答** 町長 認定農業者、生  
産組織、農業法人がいち早  
く国の補助事業を取り入れ  
ていけるように積極的に普  
及活動を行う。

危険ブロック塀等の  
除去事業

### 主な質疑

**問** 通学路の危険ブロック  
塀の除去に事業費補助金が  
計上されている場所と、そ

の通学路を利用する交通量  
は。  
**答** 地域整備課長 撤去事  
業場所は長崎地区。県道の  
交通量は1日249台であ  
る。

### 給付型奨学金を

**問** 奨学金を無償援助にし  
ては。

**答** 町長 厳しい条件設定  
等を行い実施している自治  
体があるようだが、今のと  
ころは考えていない。

国民健康保険  
特別会計補正予算

住民情報システム改修業務

### 主な質疑

**問** 平成30年度からの制度

改正に伴う改修だが、本来  
県が財源を持つべきでは。

**答** 町民課長 本来国から  
補助金として交付されるも  
のだが、補助基準を定めて  
いる最中であり、決まり次  
第補正を組む。

**問** 制度改正の内容につい  
て説明を。

**答** 町長 平成30年の一本  
化に向けて事務レベルで審  
議中であり、わかり次第報  
告する。

### 主な一般会計補正予算の内容と金額

○旧大松沢ふれあいセンター法面復旧工事費	507万円
○公共嘱託登記業務委託料	193万円
○臨時福祉給付金システム委託業務	669万円
○臨時福祉給付金事業に伴う関連経費	750万円
○担い手確保・経営強化支援事業	3,000万円
○畜産競争力強化対策整備事業	137万円
○消火栓設置工事負担金	188万円
○奨学資金システム改修業務委託料	167万円
○小学校校庭等環境整備工事費	756万円
○施設維持補修工事費（東成田・江戸沢分館）	277万円
○PCB運搬業務委託料	132万円
○海洋センター施設修繕工事費	120万円
○学校給食費管理システム改修業務委託料	167万円
○その他	398万円

補正額 7,461万円 歳入歳出総額 49億5,321万円



# 町政を問う!!

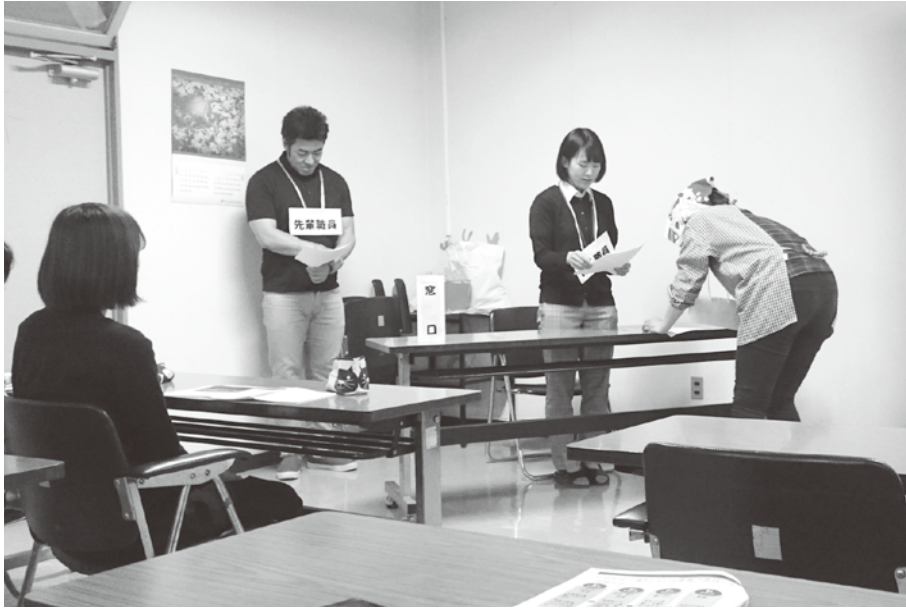


質問者(登壇順)	質問事項(通告順)	ページ
1. 石垣正博	1. 認知症対策の強化を	6
2. 高橋重信	1. 住民バス事業の現状は 2. 集中している土取り場、災害対策は大丈夫か 3. 山中希望の丘線の住民に対する説明会は怎么样了のか	7
3. 佐藤千加雄	1. 定住促進と企業誘致について 2. 町の市街地整備、工業団地の造成について 3. 観光の振興について	8
4. 千葉勇治	1. 太陽光発電施設設置の現状と今後のあり方について 2. 町道「山中希望の丘線」について 3. 幼児教育の充実について	9
5. 赤間茂幸	1. 安全安心な防災体制の強化について	10
6. 大友三男	1. 東北放射光施設について 2. 平成28年3月10日に発生した住民バスの重大事故について 3. 町道及び生活道路の整備計画並びに安全対策	11
7. 和賀直義	1. 高齢者福祉計画について 2. 未舗装の町道・生活道路の整備について	12

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報編集常任委員会で要約したものを掲載しています。



石垣 正博議員



▲認知症の正しい理解を（サポーター養成講座）

# 認知症対策の強化を

## 相談・支援体制の充実を図る（町長）

**問** 平成37年には、65歳以上の高齢者が5人に1人の割合で認知症になると予想される。

認知症・介護は町を挙げて取り組まなければならぬ課題であり、どのような取り組みを考えているか。

**答** 町長 認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チームを今年度より配置し、相談・支援体制の充実を図る。

**問** 地域包括支援センター及び推進員について、幅広く周知を図るべきと考えるが。

**答** 保健福祉課長 介護等を受けている方々には周知を図っている。しかし、一般の方々の認知度は低いので今後、手立てを考えていく。

**問** 認知症の理解と、支援体制についてのガイドブックを作成し、全戸に配布してはどうか。

**答** 保健福祉課長 町では認知症の説明・サービス等を掲載したケアパスを作成し、関係機関に配布している。

内容が多岐に渡っていることから、誰にでも分かるようなものを検討中である。

### 町全体で認知症の人びとを支える

**問** 町全体で認知症を支えるとするれば、すべての町民が認知症を理解する必要がある。

本町では、認知症サポーター養成講座を開催しているが、広く町民に受講してもらってはどうか。

**答** 町長 町民の方々にもサポーター養成講座を受けていただき、町全体で対処出来るような体制をとっていききたい。

**答** 保健福祉課長 役場職員研修の一環として、これ

までに4回開催した。サポーター数は3月現在で211人、今後も周知を図り講座を開催していく。

**問** 小・中学校教育の一環として、認知症の方の気持ち、支援について、正しい知識や付き合い方を学んでおくことが大事だと思うが。

**答** 教育長 教育委員会と相談し、次年度以降考えていきたい。

**問** 身寄りもなく、所得の低い人でも利用出来る「市民後見人」（専門の後見人でなく、一般の後見人）の養成を町で考えてはどうか。

**答** 保健福祉課長 これまでは、ほとんどが家族や弁護士等を利用、現時点では、そう多くの需要はないと考えている。





高橋 重信議員

# 住民バス事業の現状は

## 安心して利用できるよう指導している(町長)

**問** 住民バス事業は27年4月、委託先が(株)おおさと地域振興公社から、(有)アスカ観光バスに変更されて一年が経過した。振興公社より500万円の増額予算で委託されたが「安全安心な住民バスの運行」という所期の目標は達成されたのか。

**答** 町長 皆様に安心して利用していただけるよう定期的に指導しており、安全に運行されている。

**問** 先日、愛宕バス停で、乗車拒否と思われるようなことがあったが連絡は受けているか。

**答** 企画財政課長 その件については把握していない。

**問** 町民の方々からアスカ観光バスに、バス、車庫等をなぜ貸し与えているのかと聞かれる、これに対して

の所見を伺う。

**答** 町長 町所有のバスはまだまだ運行可能であり、継続していく。

### 集中している土取り場の災害対策は

**問** 川内・東成田地区が、集中的な土取り場として開発が進んでいるが、集中豪雨時の対策はマニュアル化されているのか。

**答** 町長 集中豪雨時の土砂災害防止対策として、大郷町地域防災計画「風水害等に強いまちづくり」の防災パトロール等、対応すべき対策について、マニュアルとして定めている。土砂採取地については巡回指導を行っており、今後も災害防止に向けて対応していく。

### 山中希望の丘線の説明会は

**問** 団地住民に対する説明会を行ったのか。

**答** 町長 山中希望の丘線道路新設工事の住民に対する説明会は、4月26日に長崎生活センターで中村・長崎地区の地権者等を対象とし、開催した。道路詳細設

計、道路の構造、有効性や今後の事業計画等の説明をし、地権者等の合意を得た。

**問** 希望の丘団地の人達が道路建設を反対している理由として、道路が出来ることで交通量が多くなり、児童・生徒あるいは高齢者の交通事故などを危惧している。

**答** 町長 子ども達の安全、防災面等さまざまな観点から必要な道路である。

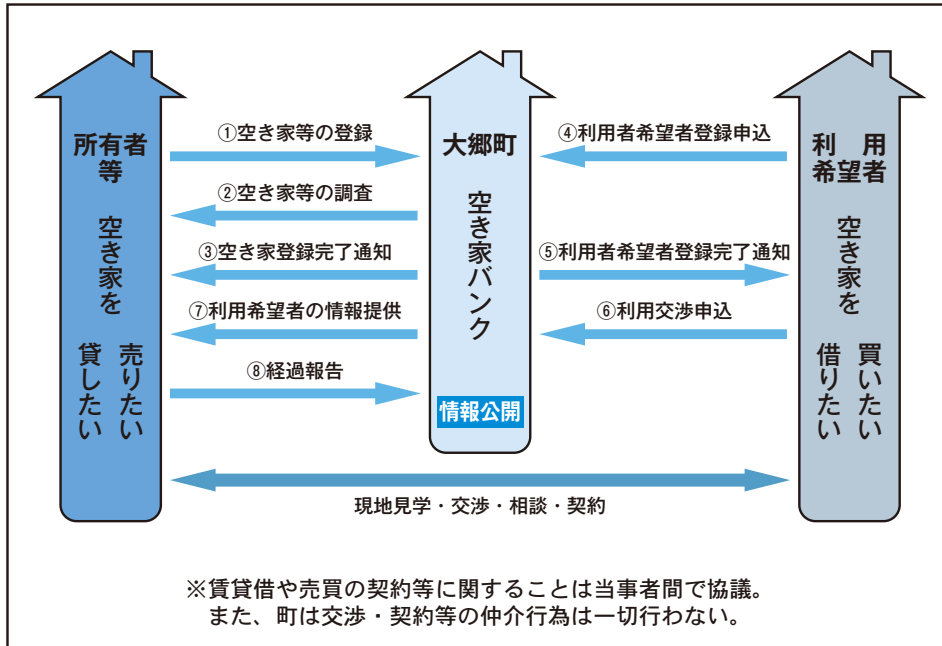
**問** 町民の声を無視しても建設したいのなら、民間活力にて建設したらどうか。

**答** 民間活力において出来れば、諸手を挙げてお願いしたいが全国でもまれな事業である。地区懇談会でしっかりと説明をして工事を始める。



▲希望の丘団地で遊ぶ子ども達

## 空き家バンクの仕組み



佐藤千加雄議員

# 定住促進に向けた具体的な施策は

## 「空家等活用定住促進事業」などを行う(町長)

### 空き家バンクの充実を

**問** 定住促進に向けた施策の現状と目標は。

**答** 町長 空き家バンクの創設、住宅リフォーム事業の充実を図る。

**問** 空き家バンクの進捗状況は。

**答** まちづくり推進課長 現在の登録は、貸し側3件、借り側8件である。

**問** 空き家審査は誰が行うのか。

**答** まちづくり推進課長 27年度は委託業者、28年度は職員で行っている。

**問** 空家等とあるが、農地なども含むのか。

**答** まちづくり推進課長 要綱では、居住を目的とした建物とその敷地を指す。

### 企業誘致の施策は

**問** 企業誘致の現状と目標は。

**答** 町長 企業立地セミナー

への参加、トップセールスを含めた企業訪問を行いながら、優良企業の誘致を進める。

**問** まちづくり推進課としての取り組みは。

**答** まちづくり推進課長 東京、名古屋のセミナーなどへ積極的に参加し、立地に向け努力する。

### 中心市街地協議会発足を

**問** 市街地、市街化調整区域の整備を。

**答** 町長 都市計画法における規制は困難。住宅用地の確保を含めた、より具体的な地域デザインを示す。

**問** 市街地整備に向けて、中心市街地協議会の発足を。

**答** 町長 地権者などと協議会を立ち上げ、関係調整を図りながら区画整理などを行っていききたい。

### 工業団地の早急な造成を

**問** 早急に工業用地の確保を。

**答** 町長 現在候補地の地権者と交渉中である。

**問** 大規模な工業団地を。

**答** 町長 大規模開発は、企業が決まらないと出来ない。現在誘致活動している放射光施設などの候補地は確保している。

**問** まちづくり推進課に用地バンクを。

**答** 町長 用地があるのであれば必要ないと考える。土取り場跡地は、県が企業用地として確約をしている。

### 観光推進体制の確立を

**問** 「大郷ふるさとプラザ」の駐車場増設を。

**答** 町長 中長期的な財政見通しを立て、計画的に推進を図る。





千葉 勇治議員

## 町づくりの妨げが懸念、太陽光発電施設

### 届け出を義務付け、実態把握し対策を講じていく(町長)

#### 太陽光発電施設設置の現状と今後について

**問** 太陽光発電施設が町内の優良農地や都市計画地域内等にも多く設置されている。町の土地利用計画を進めるなかで将来的に問題はないのか。

**答** 町長 「開発指導要綱」に基づき、適正な土地利用が図られているか事業者を確認と指導を行っている。しかし、その指導対象は1000㎡以上で、また土を動かさないと1000㎡を超えても対象外になるなど、現在の要綱では十分でない。土地利用や景観・保全、反射光対策など、住民の意見を聞きながら実効性のある対策を検討していきたい。

**問** 本町独自の条例を制定

し規制をかける必要があるのではないか。

**答** 企画財政課長 開発指導要綱の中で、太陽光発電施設も含め、自然エネルギー・再生エネルギー施設を設置する際、発電出力を基準として届け出を義務づける等、先進地の事例を参考に、先進地の事例を参考に、取り組んでいく考えだ。

#### 町道「山中希望の丘線」新設について

**問** 町道新設する際に重要なことは長崎・丸山方面の住民がどの程度必要とするかであり、必要としないという声が多数なら中止の判断を下すべきでは。

**答** 町長 通学に利用する児童の多い少ないにかかわらず安全確保が第一である。防災面や町の形成造りで始まった事業でもあり、座談会でどのような意見が出るかわからないが、いずれにしろ事業は進めていく。

#### 幼児教育の充実について

**問** 町による3歳児保育・教育について、先の同僚議員の一般質問に対し、実施に向け検討することを約束

しているがどうなっているのか。

**答** 町長 3年保育・教育を実現するためには教室不足の解消や教職員体制の確立が必須条件である。定住化構想を進める中で、幼児教育のための新たな施設整備や役場庁舎建設等の問題

も含め、「プロジェクト委員会」を立ち上げる準備中で、具体化され次第議会に示していく。



▲反射光被害防止にも行政の設置チェックが急がれる



赤間 茂幸議員

# 安全安心な防災体制の強化を

## 既存施設の機能拡充を図る(町長)

### 機能が喪失した場合の対応は

**問** 大規模地震等の災害で行政機能を失った場合、本庁舎に代わる拠点が必要であればならない。今後どのように整備するのか。

**答** 町長 防災拠点施設として既存施設の活用等を図り、必要な基盤・整備の充実に努め、機能の拡充・向上に努める。

**問** 住民情報等の各種データのバックアップ体制の備えは。

**答** 町長 システム保守管理業者に委託し、戸籍のデータは法務省により管理しており、バックアップ体制は確立している。

**問** 大規模災害時には緊急ヘリポートが必要であり野球場だけで十分なのか。

**答** 総務課長 毎年、県と協議し、4月に旧大松沢中

学校校庭と旧大郷牧場跡地の3カ所を申請報告をしている。

### 災害弱者への対応は

**問** 災害弱者には十分な支援の処置をとり、避難施設も一般の方々とは違う、ある程度整った施設でなければならぬ。避難支援の方針、施設の整備状況は。

**答** 町長 災害時、要援護者避難計画や地域防災計画に基づき、災害弱者等への救助、避難誘導、福祉サービス等の提供等を状況変化に応じた確に行う体制を整備している。

**問** 災害時の避難行動要支援者を把握しているのか、またその対応は。

**答** 町長 把握している。4月現在242名。名簿等整備し各行政区長・民生児童委員・社会福祉センター・地域包括支援センター・消防署に提出している。

必要に応じ福祉避難所の開設を黒川郡内の関係福祉施設と連携し対応する。

**問** 震災後、一時避難した場合、教育をその避難先で受けられるのか。

**答** 教育長 25年度に区域外就学に関する取り扱い要綱を作成し、いろんなケースに応じて区域外の子どもの受け入れの規程を設けた。安心して引き受けられる体制を取っている。



▲平成20年に耐震補強工事を行った庁舎





大友 三男議員

# 懸念される放射性廃棄物について

## 東北放射光施設から放射性廃棄物はない(町長)

**問** 東北放射光施設は、10年間で3200億円の経済効果や1万4000人の雇用が生まれると言われており、本町には是非とも必要な施設だと認識している。しかしながら、国内9カ所にある放射光施設に関して専門家の中でも放射性廃棄物が出る、出ないという意見があり、本町の放射性廃棄物等の持込拒否に関する条例を修正しないまま誘致推進をすれば本町の信頼性を失くすのでは。

**答** まちづくり推進課長 本町が誘致しようとしている東北放射光はX線を使う施設で、つくばKEKのように陽子線を使う施設ではないので放射性廃棄物は発生しない。

**答** 副町長 この施設は波

長の長い軟X線で出力3と弱く、さらに専門家の意見でも放射性廃棄物が出ないところがあるので、それを踏まえて誘致推進をしていく。

**相手方の過失により発生した住民バスの事故対応は**

**問** バス会社の関係者が事故現場に3人も居ながら、住民バスの運転手1人で救急搬送された。その対応をどう思うか。

**答** 企画財政課長 指定管理者に確認したが、本人が会話が出来た状態であったことや、現場での話の中で後で別途病院に伺うということと同乗はしなかったと報告を受けている。

**答** 町長 町としてバス会社や宮城陸運支局、ケガをした運転手さんに対して適切に対応している。

### 町道・生活道路の整備計画や安全対策は

**問** 雨が降るたび水溜りができ、歩くのが大変な未舗装の生活道路や、道幅が狭く子ども達や高齢者の歩行時の安全が確保出来ない道路が町内全域にあるが、改

善出来ないか。

**答** 町長 大郷町道路の整備に関する要綱に基づき維持管理を行い、歩行時の安全に支障を来さないよう対応していく。



▲つくばKEK高エネルギー研究機構



和賀 直義議員



▲健康増進の一助を担います（町老人クラブシニアスポーツ大会）

# 介護ボランティアポイント制度の導入を

## 新総合事業で検討（町長）

**問** 高齢者が住み慣れた地域でできるだけ自立した生活を送るためには、地域の様々な人の見守りや支援が必要だ。要支援1・2の訪問、通所介護サービスが平成29年3月までに新総合事業で実施するとなっているが。

**答** 町長 既存施設のみならず指定により移行を検討、利用者負担のあり方が検討課題となる。

**問** 新総合事業で多様なサービス（住民主体による支援）をうたっているが、住民の協力、地域で集まれる憩いの場の確保が課題では。  
**答** 保健福祉課長 協議体をつくりその中で検討、地域の盛り上がりの中で実施する方向にもっていく。  
**問** 個別課題の支援やネットワークづくりを行う「地域ケア会議」の取り組み状況と課題は何か。  
**答** 町長 困難事例等ケ

スの状況に応じて専門職を交えた地域ケア会議を開催し支援にあたっている。

**問** 元気な高齢者が活躍できる介護ボランティアポイント制度（ポイントに応じて地域で使用できる商品券を発行）を導入すべきだ。

**答** 町長 健康維持、地域経済の発展に繋がる。新総合事業で実施の方向で検討する。

**問** 認知症サポーター養成講座受講者には、事後研修としてフォローアップ研修、徘徊模擬訓練等を行い、より効果を高めてはどうか。  
**答** 保健福祉課長 研修の内容等も含めて検討する。

**問** 特別養護老人ホームの待機者数、その減少のための方策は。  
**答** 町長 5月現在で74人、要介護者を増やさないうよう介護予防事業の推進に努める。

**年次計画で未舗装路線の整備を**

**問** 町道・生活道路の舗装、改良の要望が多いが、いつ実現するのか明確でない。現在、舗装要望の路線数は。

**答** 町長 未舗装部分がある路線は26路線で、区長等から舗装要望があるのは4路線である。

**問** 何を基準にして優先順位を決定しているのか。

**答** 町長 人家連たんの有無、軒数、通り抜けの可否、他の公共施設へのアクセス等を定量的に順位付けし、予算の範囲内にて整備を行っている。

**問** 年次計画を作成し、例えば5年で実施する計画を公表することにより住民に希望を持たせることができると考えるが。

**答** 町長 将来性、現状を分析・精査し、どう取り組むか検討する。



# 議会改革と活性化を

## 議会改革調査特別委員会



▲議会の活性化に向け・・・

### 特別委員会 を設置

第2回定例議会において  
議会改革調査特別委員会を  
設置しました。

議会改革が強く求められて  
いる情勢にあつて、議会  
活動の改革、活性化を図り、  
諸問題等へいち早く対応す  
るために設けられた委員会  
です。

#### 【委員定数】

議長を除く全議員（13  
名）で構成されています。

委員長 千葉 勇治  
副委員長 吉田 茂美

### 議会の主な動き (4/1~6/30)

月 日	用 務	月 日	用 務
4/2	大郷保育園入園式並びに進級式	5/20	宮城黒川地方町村議会臨時会(大衡村)
4/5	宮城県町村議会議長会正副会長会議(仙台市)	5/23	黒川地方町村議会連絡協議会総会(大郷町)
4/6	春の交通安全運動大郷町開始式(大郷町)	5/23	大郷町遺族会総会
4/7	広報編集常任委員会	5/24	議会運営委員会・広報編集常任委員会
4/8	大郷小・中学校入学式	5/25	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進期成同盟会総会(大崎市)
4/10	東北放射光施設誘致シンポジウム(大郷町)	5/26	大郷町シルバー人材センター定時総会
4/11	大郷幼稚園入園式	5/26	宮城県町村議会議長会臨時総会(仙台市)
4/13	広報編集常任委員会	5/26	くろかわ商工会通常総代会(大和町)
4/17	第6師団神町駐屯地創立記念行事(山形県)	5/30~31	第41回全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
4/27	黒川地方町村議会連絡協議会監事会・役員会(大衡村)	6/1	議会運営委員会
4/28	大郷町老人クラブ連合会定期総会	6/1~3	第2回(6月)定例会
4/28	宮城黒川地方町村議会議長会定例会議(松島町)	6/3	議員全員協議会
4/28	宮城黒川地方町村議会議長会町村長・議長懇話会(松島町)	6/10	茂登会総会
4/29	B&G財団柔道大会(大郷町)	6/12	大郷町婦人会設立総会
5/12	宮城県町村議会議長会正副会長会議・監事会(仙台市)	6/14	黒川地域東北放射光施設誘致促進協議会要望活動(仙台市)
5/12	教育民生常任委員会	6/16	議員全員協議会・広報編集常任委員会
5/12	宮城黒川地方町村議会議長会正副会長会議(仙台市)	6/16	第2回(6月)臨時会
5/13	東北放射光施設誘致要請活動(仙台市)	6/17	東北経済連合会要望活動・河川改修要望活動
5/16	総務産業常任委員会	6/24	議員全員協議会・議会改革調査特別委員会
5/17	2016原水爆禁止平和行進宮城県実行委員会の要請に対応	6/24	第3回(6月)臨時会
5/17	黒川郡犯罪者予防更生協会総会	6/27~29	宮城黒川地方町村議会議長会視察研修(北海道)
5/19	議員全員協議会・議会運営委員会	6/28	J Aあさひな第19回通常総代会(大和町)
5/20	宮城県町村議会議長会正副会長会議・監事会(仙台市)	6/30	広報編集常任委員会

# 平成28年第2回(6月)定例議会 議案採決結果一覧表

議案番号	議案名 (略称)	議決月日	採決結果	賛成	反対	赤間茂幸	大友三男	佐藤千加雄	石川壽和	若生寛	赤間滋	和賀直義	高橋重信	石垣正博	高橋壽一	石川秀雄	千葉勇治	吉田茂美	石川良彦	
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正)	2日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (大郷町立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正)	2日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (税条例等の一部改正)	2日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (国民健康保険税条例の一部改正)	2日	承認	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	-
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて (企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正)	2日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第6号	専決処分の承認を求めることについて (復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正)	2日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて (平成27年度一般会計補正予算(第10号))	2日	承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
報告第1号	繰越明許費繰越計算書について (一般会計)	2日	報告のみ																	
報告第2号	繰越明許費繰越計算書について (宅地分譲事業特別会計)	2日																		
報告第3号	繰越明許費繰越計算書について (水道事業会計)	2日																		
35	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	3日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
36	平成28年度大郷町	一般会計補正予算(第1号)	3日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
37		国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	3日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
38		水道事業会計補正予算(第1号)	3日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
委発第3号	議会改革調査特別委員会の設置について	3日	可	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

可：可決 否：否決 ○：賛成 ●：反対 退：退席 欠：欠席

※可否同数でない限り、議長は採決に加わらない。

## 次回定例議会

みなさんの傍聴を  
お待ちしております

9月5日(月)から

午前10時～

9月21日(水)まで

生  
の  
声  
を

議  
会  
の



総務  
産業

## 道の駅おおさとの早急な改善を 「あ・ら・伊達な道の駅」視察調査（5月16日）



▲大崎市岩出山の「あ・ら・伊達な道の駅」を視察

平成28年5月16日（月）に大郷町開発センターにおいて瀬戸（株）おおさと地域振興公社社長より、開発センター内を案内され、その後物産館において、現状と課題今後の運営改善計画について説明を受けた。その後大崎市の「あ・ら・伊達な道の駅」を視察、遠藤社長より会社概要の説明、運営方針について、また今後の「道の駅」の課題や取り組みについても詳しく説明を受けた。国交省の重点「道の駅」指定を受け、新たな展開に向け積極的に取り組む姿勢が感じられた。

【意見】

### 開発センターの実態調査について

1. 町がたたき台となる活用案を示し、「指定管理運営業務に関する改革プロジェクトチーム」のメンバー構成を、町・農協・商工会の職員に、第三者として専門家や消費者を加えて構成員を充実させ、多くの意見を参考に、年度内には新たな運営方針を定めるべきである。
2. 「道の駅おおさと」の改善について  
1. 「道の駅おおさと」ならではの特徴ある商品開発と併せ、他にない商品の陳列、新鮮野菜の配置などを考え、お客様に楽しんで、また喜んで買い物をしていただく環境づくりに取り組むことを求める。  
2. 従業員の士気を高めるため、尚一層のリーダーの指導性が求められている。  
客の立場に立った接客態度、事業運営に対する情報の共有、従業員報酬の優遇など再考し、「企画立案」できる体制の構築が必要である。
3. 「あ・ら・伊達な道の駅」では、地域福祉の一環として、買い物難民解消のため、出張販売や予約販売をする取り組みも検討されていたが、「道の駅おおさと」でも参考にされたい。

1. 「道の駅おおさと」ならではの特徴ある商品開発と併せ、他にない商品の陳列、新鮮野菜の配置などを考え、お客様に楽しんで、また喜んで買い物をしていただく環境づくりに取り組むことを求める。

## 教育 民生

### 地域包括支援センターの現状は

### 高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を（5月12日）



▲町民へのより積極的なアプローチを

平成28年5月12日（木）、大郷町社会福祉協議会会議室において、大塚所長、高橋主任兼介護支援専門員、小関社会福祉士、佐藤看護師、併せて保健福祉課から残間課長、小野係長出席のもと地域包括支援センターの現状と今後について詳細な説明を受けた。

を掲げて、多岐に渡る事業・サービスを行っている。

#### 【意見】

#### 地域づくりによる

#### 介護予防運動の推進を

各種事業への参加者が地区によって偏りが見られる。また、説明の中で地域包括支援センターそのものの認知度が低いとの話もあつた。せつかくの取り組みを知らない町民も多いのではと推測される。町民へのより積極的なアプローチ等を再度検討し、住民の主体的な活動による地域づくりが肝要であることを、役場職員・地域包括支援センター・町民が共通理解し、「地域づくりによる介護予防の推進」をこれまで以上に図りたい。

1. 地域包括支援センターの機能の周知や地域ニーズの拾い出しと連携。
  2. 実態把握・介護予防（早期発見・継続的な予防支援）
  3. 認知症地域推進事業の実施。
  4. 専門性の向上。
- 以上の4つの事業内容であり、地域の高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を送ることが出来るよう、援助・支援を、包括的、継続的に行うという運営方針



# 追跡レポート

## 公共交通体系の見直しを

住民バス、デマンド方式を含めた公共交通体系の見直しを図るべきである。  
(平成27年9月議会、決算審査における意見書より)

## その後の対応と今後の計画

住民バスは、町内唯一の公共交通機関として多くの皆様にご利用いただいておりますが、より利便性を高めるとともに、高齢化による免許証の返納などにより交通手段を持たない方が増えてくることから、平成30年までに、デマンド型の交通手段（予約型の乗り合いタクシー）の導入を含め、全体的な公共交通体系について見直す予定であり、現在検討作業を行っているところです。  
企画財政課長



▲全体的な公共交通体系の見直しを検討中



▲防災無線で身近な情報も発信します

## 防災行政無線のより良い活用を

- ①防災行政無線の活用のガイドラインを早期に作成されたい。  
(平成26年3月議会、予算審査における意見書より)
- ②防災行政無線の利用状況調査を行い、情報伝達の向上を図られたい。  
(平成27年3月議会、予算審査における意見書より)

## その後の対応と今後の計画

- ①大郷町防災行政無線施設の通信基準を現在作成中である。
- ②利用状況調査は実施していないが、各種団体等からの通信依頼が多数来ている状況から、各家庭においても視聴されていると考える。

総務課長

# 住民の 声



鈴木 孝徳 さん  
(川内)

## 「初心忘れずに」

ここ近年新聞を見る。雑誌週刊誌を読む。字を見ることに大変さを感じるようになってきました。しかし町の広報や議会広報は楽しみに待っております。このたび「みんなの議会」への声として投稿依頼がありペン先を見えずに原稿用紙に向かいました。町の動きや議会の活動状況、さらには一般質問の内容、それによる議員皆さんの取り組みなどが感じられます。編集委員の皆さんご苦労さまです。

先日テレビで放映されておりましたが、国民あつての議員、国民の代表者ではないとの意見がありました。すなわち国民の要望の聞き取り役、手足となって国民の世話役となる、この話がありました。町議も同じ事が言えるのではないのでしょうか。

「初心忘れず」「人の上に人をつくらず」是非皆さんの今後の活躍とご尽力にご期待申し上げます。

## 正確で解りやすくをモットーに より良い紙面づくりを目指します!

6月  
4日・5日

## 第65回富谷黒川地区 中学校総合体育大会

団体の部で大郷中学校卓球部女子、剣道部男子が優勝、卓球部男子が準優勝し県大会出場。また卓球、剣道、柔道の個人の部12名が県大会出場を果たすなど優秀な成績を収めました。



▲団体の部2年連続優勝の卓球部女子

### 編集後記

今年、リオオリンピック開催の年、テレビ、新聞等でもう少し盛り上がりつつもよさそうなものですが、如何せん政治とお金のことでにぎわっています。我々も気を引き締めていかなければと思います。そんな中、今議会において議会改革調査特別委員会が設置されました。分かりやすく透明性のある議会を目指していかなければなりません。町民の皆様には厳しい目で見守っていただければと思います。

(石川 寿和)

### 編集委員

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 和賀 直義 |
| 副委員長 | 佐藤千加雄 |
| 委員   | 赤間 茂幸 |
|      | 石川 寿和 |
|      | 高橋 重信 |
|      | 吉田 茂美 |

